

日本での交換留学

韓国芸術総合学校
チョン・ヒョンミン

韓国芸術総合学校からのチョン・ヒョンミンと申します。もともと予定だった交換留学期間は半年でしたが、後期まで延長するようになって、1年間お茶大で多くのことを学び、経験することができました。4月から始まった旅程がもう幕を閉じるといふから寂しい気持ちでいっぱいです。

前期にはすべてが新しく不慣れな環境だったので、色々なことを体験しながら適応していくことに比重を置いたとすれば、後期には適応された環境で本当に価値のある経験をしてみようと努力した一学期でした。

最も記憶に残ったことの一つは、指導教員の中村先生の「舞踊における色・音・香」授業に動作試演として参加したことです。この授業は毎回違うジャンルの舞踊の先生の方々がいらっしゃり、講演式で行われる授業でしたが、その中で、韓国舞踊の講演にワークショップの動作試演で参加させていただきました。たくさんの学生の前で緊張してしまいましたが、日本で韓国の踊りを紹介したり一緒に楽しむことができ嬉しかったです。

また、記憶に残るのは前期からずっと聞きたかった日本舞踊正規授業を受けるようになったことです。日本舞踊の多様なレパートリーを学びながら日本の伝統的な芸術の美学、昔から伝えてきた考え方など現地でしか感じられない文化的な側面を見ることができ、楽しくて興味深い時間でした。練習の時、鏡を見ながら自分の体や動作を確認する他のジャンルの舞踊とは違って、日本舞踊は鏡を見ないまま感覚に集中しながら役割を表現するのが印象的でした。

萩原先生の「日本語演習1B」ではALHで指導教員をインタビューして敬語の練習をしたり、加藤先生の「日本語演習2B」ではギャル文化について発表をしながら自分が興味のあるテーマをクラスで共有したり、留学生日本語授業では色々な活動を通じて楽しく日本語の実力を伸ばすことができました。



授業以外にもサークルに入って様々な友達に会って微音祭と大会を準備しながら‘青春’を自ら感じられる大切な経験もしました。本を読みながら勉強するだけでなく、直接体験して見聞を広げることができる1年間でした。



最後に私の1年間の交換留学を美しく仕上げるができるように手伝ってくださった皆さんに感謝の挨拶を申し上げたいです。まず、指導教員の中村先生、毎月振り返りシートを読んでもいただき、大切な経験ができるように機会をいただきありがとうございます。1年間誠にありがとうございました。次には、日本舞踊の特別授業から正規授業までいつも気を遣ってく

ださった黒住先生にも感謝したいです。お陰様で、踊ることがどれほど楽しいかを改めて感じることができました。また、留学生ホームルーム授業から日本語1B授業までいつも熱心に指導してくださった萩原先生にも心から感謝します。私の日本語実力の80%は萩原先生のおかげです。最後に、まだまだの私を導いてくださった加藤先生、ガルマエヴァ先生、デレック先生、王先生にも感謝の気持ちを伝えたいです。